### 【高齢者の現状】

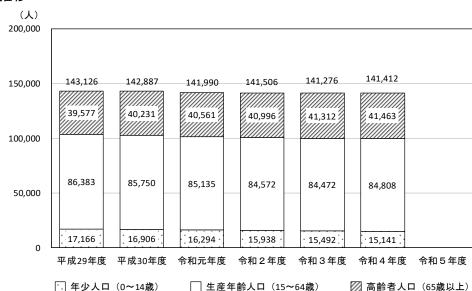
### 1 総人口の推移

本市の人口推移をみると、減少傾向が続いており、平成 29 年の 143, 126 人から令和 3 年の 141, 276 人へ 1,850 人減少していますが、令和 3 年から令和 4 年にかけて、126 人増加しています。

年齢3区分人口でみると、平成29年から令和4年にかけて、年少人口は17,166人から15,141人へ1,752人減少し、高齢者人口は39,577人から41,463人へ1,886人増加しています。

人口に占める比率をみると、年少人口は減少傾向にありますが、高齢者人口は増加しており、平成29年(27.7%)から令和4年(29.3%)にかけて、1.6ポイント上昇しています。全体の人口の伸びは鈍くなる一方、さらなる高齢化が予測されます。

#### ■人口の推移



#### ■年齢3区分人口の推移

単位:人

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
総人口	143,126	142,887	141,990	141,506	141,276	141.412	
年少人口	17,166	16,906	16,294	15,938	15,492	15,141	
(0~14 歳)	12.0%	11.8%	11.5%	11.3%	11.0%	10.7%	
生産年齢人口	86,383	85,750	85,135	84,572	84,472	84,808	
(15~64 歳)	60.3%	60.0%	59.9%	59.8%	59.8%	60.0%	
高齢者人口	39,577	40,231	40,561	40,996	41,312	41,463	
(65 歳以上)	27.7%	28.2%	28.6%	29.0%	29.2%	29.3%	

資料:住民基本台帳(各年10月1日現在)

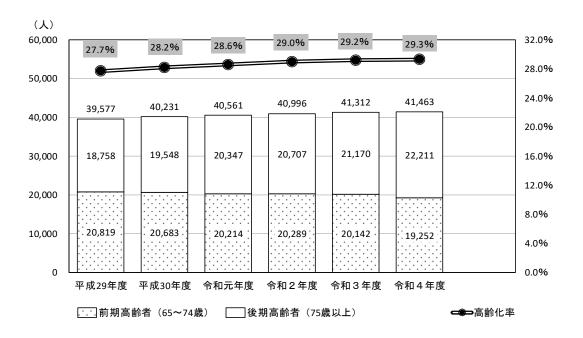
# 2 高齢者人口の推移

高齢者人口は、平成 29 年の 39,577 人から令和 4 年の 41,463 人へ 1,886 人増加しています。

このうち、前期高齢者  $(65\sim74$  歳) は、平成 29 年の 20,819 人から令和 4 年には 19,252 人へ 1,567 人減少しています。

一方、後期高齢者(75歳以上)は、平成29年の18,758人から令和4年には22,211人へ3,453人増加しています。

#### ■高齢者人口の推移



#### ■高齢者人口比率の推移

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
高齢者人口	]	39,577	40,231	40,561	40,996	41,312	41,463	
(高齢化率)	)	27.7%	28.2%	28.6%	29.0%	29.2%	29.3%	
前期高齢		20,819	20,683	20,214	20,289	20,142	19,252	
(65~74 肩	裁)	14.6%	14.5%	14.3%	14.3%	14.2%	13.6%	
後期高齢	者	18,758	19,548	20,347	20,707	21,170	22,211	
(75 歳以_	E)	13.1%	13.7%	14.3%	14.6%	15.0%	15.7%	

資料:住民基本台帳(各年10月1日現在)

### 【要支援・要介護認定者の推移】

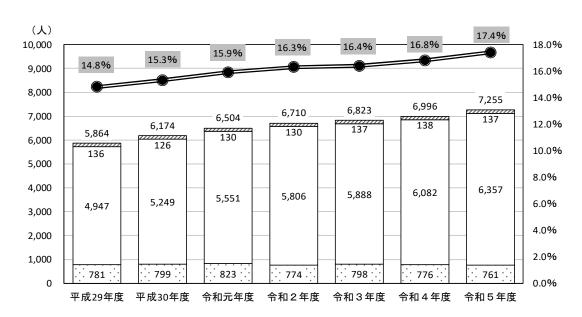
### 1 要支援・要介護認定者の推移(被保険者別)

要支援・要介護認定者の推移をみると、平成 29 年の 5,864 人から令和 5 年の 7,255 人へ、1,391 人増加しています。

要支援・要介護認定者を被保険者の種別でみると、令和 5 年 4 月 1 日現在、第 1 号 被保険者のうち前期高齢者( $65\sim74$  歳)が 761 人、後期高齢者(75 歳以上)が 6,357 人、第 2 号被保険者( $40\sim64$  歳)が 137 人となっています。

また、平成29年から令和5年にかけて、前期高齢者は20人減少し、後期高齢者は1,410人増加しています。

#### ■要支援・要介護認定者の推移



第 1号被保険者(前期高齢者) ■ 第 1号被保険者(後期高齢者) 2 第 2号被保険者

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
第1号被保険者	781	799	823	774	798	776	761
(前期高齢者)	13.3%	12.9%	12.7%	11.6%	11.7%	11.1%	10.5%
第1号被保険者	4,947	5,249	5,551	5,806	5,888	6,082	6,357
(後期高齢者)	84.4%	85.0%	85.3%	86.5%	86.3%	86.9%	87.6%
認定率*	14.8%	15.3%	15.9%	16.3%	16.4%	16.8%	17.4%
第2号被保険者	136	126	130	130	137	138	137
第2 <b>5</b>	2.3%	2.1%	2.0%	1.9%	2.0%	2.0%	1.9%
合計	5,864	6,174	6,504	6,710	6,823	6,996	7,255

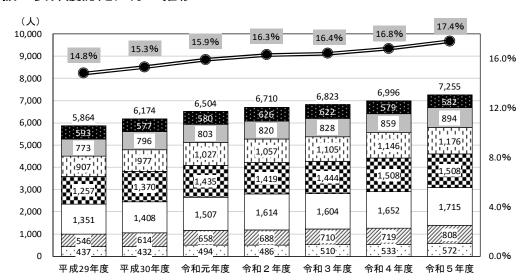
※認定率は、第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数値

(各年4月1日現在)

# 2 要支援・要介護認定区分の推移

要支援・要介護認定区分の推移をみると、平成29年から令和5年にかけて、要支援・要介護認定者数は、一貫して増加しています。

認定者の増加は、制度の周知が進み、介護を必要とする人がより積極的に介護保険 を利用するようになったことを示しており、今後も、高齢者に対する介護予防の充実 が求められます。



要支援・要介護認定区分の推移

○・・・ 亜 支 垤 1	L ///// 要支援2 ──要介護	1 📭 要介護2 🛄 要介護3	□ 亜介誰 / ■■ 亜介誰 5	━━認定率
- J <b>Z Z</b> [k]	L [////] 女人1& L 女儿吃		女川 吱   女川 吱」	

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
要支援1	437	432	494	486	510	533	572
女义版「	7.5%	7.0%	7.6%	7.2%	7.5%	7.6%	7.9%
要支援2	546	614	658	688	710	719	808
女义162	9.3%	9.9%	10.1%	10.3%	10.4%	10.3%	11.1%
小 計	983	1,046	1,152	1,174	1,220	1,252	1,380
\], U	16.8%	16.9%	17.7%	17.5%	17.9%	17.9%	19.0%
要介護1	1,351	1,408	1,507	1,614	1,604	1,652	1,715
女月茂「	23.0%	22.8%	23.2%	24.1%	23.5%	23.6%	23.6%
要介護2	1,257	1,370	1,435	1,419	1,444	1,508	1,508
女月 改名	21.4%	22.2%	22.1%	21.1%	21.2%	21.5%	20.8%
要介護3	907	977	1,027	1,057	1,105	1,146	1,176
女月段り	15.5%	15.8%	15.8%	15.8%	16.2%	16.4%	16.2%
要介護4	773	796	803	820	828	859	894
女月設生	13.2%	12.9%	12.3%	12.2%	12.1%	12.3%	12.3%
要介護5	593	577	580	626	622	579	582
女月設り	10.1%	9.3%	8.9%	9.3%	9.1%	8.3%	8.0%
小 計	4,881	5,128	5,352	5,536	5,603	5,744	5,875
,1, <u>U</u>	83.2%	83.1%	82.3%	82.5%	82.1%	82.1%	81.0%
合 計	5,864	6,174	6,504	6,710	6,823	6,996	7,255

(各年4月1日現在)

# 【認知症高齢者の現状】

認知症高齢者の現状をみると、介護認定者のうち約5割の3,761人が認知症認定者となっています。

各年4月1日現在

		令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	状態
介護認	定者数	6, 504	6, 710	6, 823	6, 996	7, 255	
自立		1, 286	1, 379	1, 596	1, 960	2, 209	
	自立度 I	1, 285	1, 296	1, 348	1, 311	1, 285	家庭内及び社会的に は自立した日常生活 ができる
	自立度Ⅱa	820	841	811	757	757	ある程度の支援があ れば自立した日常生
認	自立度Ⅱb	1, 109	1, 111	1, 064	1, 051	1, 058	活ができる
症	自立度Ⅲa	1, 055	1, 075	1, 019	984	1, 023	日常生活に一定の介
認定	自立度IIIb	361	386	381	369	349	護を必要とする
知症認定者数	自立度Ⅳ	467	503	501	460	451	日常生活に常に介護 を必要とする
	自立度M	121	119	103	104	123	専門医療を必要とする
認知症	認定者数 合計	3, 933	4, 035	3, 879	3, 725	3, 761	
要介護認定者数に占める割合		60. 5%	60. 1%	60. 6%	53. 2%	51. 8%	

### 《参考》認知症高齢者の日常生活自立度判断基準

	•						
	ランク	判断基準	見られる症状・行動の例				
自立原	复 I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭 内及び社会的にはほぼ自立している					
自立原	ŧΙ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志 注意していれば自立できる	疎通の困難さが多少見られても、誰かが				
	自立度Ⅱa	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、 金銭管理などそれまでできたことにミ スが目立つ等				
	自立度Ⅱb	家庭内で上記Ⅱの状態が見られる	服薬管理ができない、電話の対応や記 問者との対応など一人で留守番ができ ない等				
自立原	复皿	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を 必要とする					
	自立度Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる	着替え、食事、排便・排尿が上手にでき				
	自立度亚b	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる	ない・時間がかかる、やたらに物を口に				
自立度IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意 志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を 必要とする	入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、 大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔 行為、性的異常行為等				
自立原	<b>ξ</b> Μ	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身 体疾患が見られ、専門医療を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動 が継続する状態等				

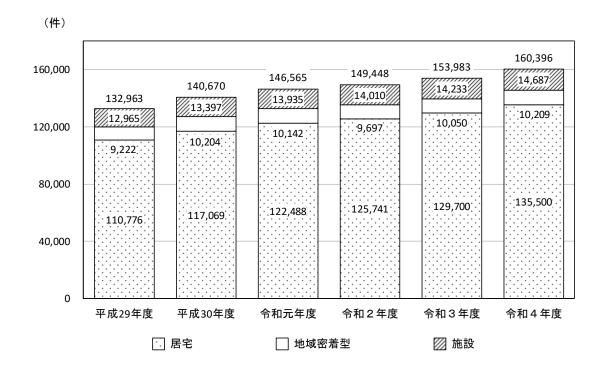
# 【介護保険サービス利用件数と給付費の推移】

#### ■介護給付の利用件数の推移

介護給付の利用件数の推移をみると、居宅サービスでは、平成 29 年度の 110,776 件から令和 4 年度の 135,500 件と 24,724 件増加しています。

地域密着型サービスでは、平成 29 年度の 9,222 件から令和 4 年度の 10,209 件と 987 件増加しています。

施設サービスでは、平成 29 年度の 12,965 件から令和 4 年度の 14,687 件と 1,722 件増加しています。



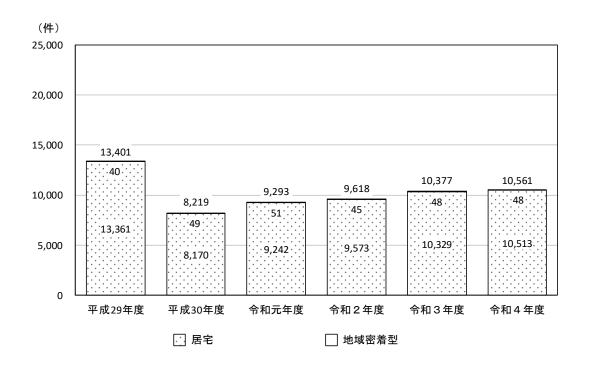
	平成	平成	令和	令和	令和	令和
	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度	4 年度
居宅	110, 776	117, 069	122, 488	125, 741	129, 700	135, 500
地域密着型	9, 222	10, 204	10, 142	9, 697	10, 050	10, 209
施設	12, 965	13, 397	13, 935	14, 010	14, 233	14, 687
合計	132, 963	140, 670	146, 565	149, 448	153, 983	160, 396

(単位:件数)

#### ■介護予防給付の利用件数の推移

介護予防給付の利用件数の推移をみると、居宅サービスでは、平成30年度に大きく減少しており、8,219件となっています。これは、従来予防給付として提供されていた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護が、地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に移行したことが要因と考えられます。その後、平成30年度以降は利用件数が増加傾向となっています。

地域密着型介護予防サービスでは、平成29年度の40件から令和4年度の48件と概ね横ばいとなっています。



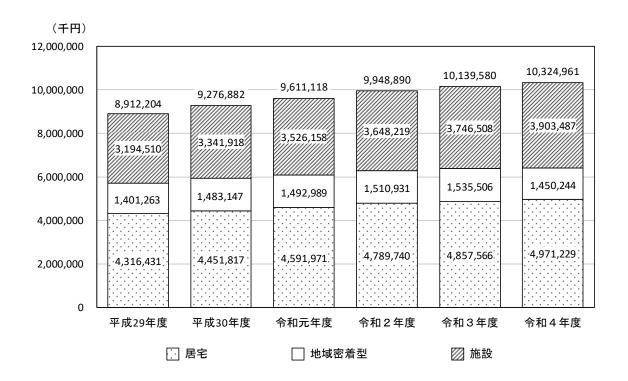
	平成	平成	令和	令和	令和	令和	
	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度	4 年度	
居宅	13, 361	8, 170	9, 242	9, 573	10, 329	10, 513	
地域密着型	40	49	51	45	48	48	
合計	13, 401	8, 219	9, 293	9, 618	10, 377	10, 561	

(単位:件数)

### ■介護保険サービス給付費の推移

介護給付費の合計は、平成 29 年度の約 89 億円から令和 4 年度の約 103 億円と、 約 14 億円増加しています。

いずれのサービスも増加しており、施設サービスの増加が最も大きくなっています。

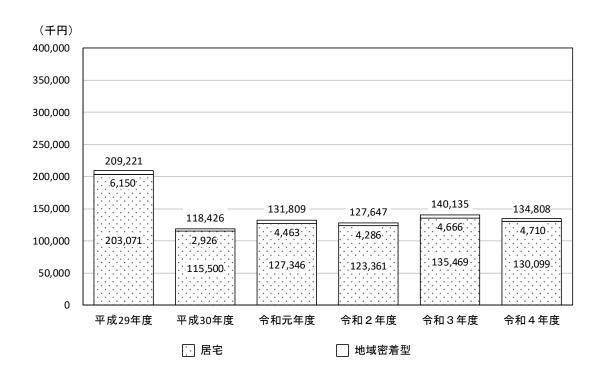


	平成	平成平成		令和	令和	令和	
	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度	4 年度	
居宅	4, 316, 431	4, 451, 817	4, 591, 971	4, 789, 740	4, 857, 566	4, 971, 229	
地域密着型	1, 401, 263	1, 483, 147	1, 492, 989	1, 510, 931	1, 535, 506	1, 450, 244	
施設	3, 194, 510	3, 341, 918	3, 526, 158	3, 648, 219	3, 746, 508	3, 903, 487	
合計	8, 912, 204	9, 276, 882	9, 611, 118	9, 948, 890	10, 139, 580	10, 324, 961	

(単位:千円)

#### ■介護予防サービス給付費の推移

介護予防給付費の合計は、平成29年度の約2億1千万円から平成30年度の約1億2千万円と、約9千万円減少しています。これは、従来の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護が、介護予防・日常生活支援総合事業に移行したことが要因と考えられます。その後、平成30年以降は推移が概ね横ばいとなっています。



	平成	平成	令和	令和	令和	令和	
	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
居宅	203, 071	115, 500	127, 346	123, 361	135, 469	130, 099	
地域密着型	6, 150	2, 926	4, 463	4, 286	4, 666	4, 710	
合計	209, 221	118, 426	131, 809	127, 647	140, 135	134, 808	

(単位:千円)

### ■介護保険事業所数(令和5年4月現在)

市内の介護保険サービス提供事業者は、令和5年4月現在282となっています。サービス種別や所在地域については、次の表のとおりです。

(単位:箇所)

		事業所				日常生	活圏域		平区.	
No.	サービス種別	数	中区地	二中 地区	三中 地区	四中 地区	五中 地区	六中 地区	都和中 地区	新治 地区
1	居宅介護支援	45	9	4	8	11	2	6	2	3
2	訪問介護	36	5	2	9	10	6	2	1	1
3	訪問入浴介護	2	0	0	2	0	0	0	0	0
4	訪問看護	23	9	3	2	3	3	1	2	0
5	訪問リハビリテーション	6	1	1	1	2	1	0	0	0
6	通所介護(デイサービス)	31	6	2	5	7	5	2	1	3
7	通所リハビリテーション(デイケア)	13	3	2	3	1	2	2	0	0
8	短期入所生活介護(ショートステイ)	19	2	1	2	4	3	2	2	3
9	短期入所療養介護	9	1	3	2	1	1	1	0	0
10	特定施設入居者生活介護	5	3	0	0	1	0	0	1	0
11	福祉用具貸与	14	1	2	3	4	4	0	0	0
12	特定福祉用具販売	12	0	2	3	5	2	0	0	0
13	地域密着型通所介護(デイサービス)	22	5	3	3	4	1	4	1	1
14	認知症対応型通所介護	3	0	0	2	0	1	0	0	0
15	小規模多機能型居宅介護	2	1	0	1	0	0	0	0	0
16	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	12	1	1	1	2	4	1	1	1
17	地域密着型介護老人福祉施設(小規模特養)	7	1	1	1	1	0	2	1	0
18	看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	1	0	0	0	0
19	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	12	2	1	1	1	2	2	1	2
20	介護老人保健施設	7	1	2	2	0	1	1	0	0
21	介護医療院	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	282	51	31	51	58	38	26	13	14

<sup>※1~12</sup>が居宅サービス、13~18が地域密着型サービス、19~21が施設サービスに該当します。

<sup>※</sup>訪問看護、訪問リハビリテーションは、みなし指定 (医療機関) があるため、令和4年度に給付実績のある事業所を計上しています。

<sup>※</sup>居宅療養管理指導については、医療機関、薬局のみなし指定のため記載していません。

<sup>※</sup>通院等乗降介助については、把握することができないため記載していません。

# 【計画値と実績値との比較】

# ■介護給付によるサービス利用件数

介護給付によるサービス利用件数の状況をみると、特に居宅介護サービスで、実 績値が計画値を超えているものが多くなっています。令和4年度の対計画比をみる と、小規模多機能型居宅介護が最も高く、次いで地域密着型通所介護、短期入所療 養介護(病院等)となっています。

単位:件数

	<b>△和○左</b> 库			単位:件数 <b>全和4年度</b>				
介護給付	令和3年度			B 17 7.	令和4年度			
	見込み (計画書)	(年報)	比率	見込み (計画書)	年報	比率		
(1)居宅サービス								
訪問介護	10, 848	11, 273	103. 9%	11, 004	11, 665	106. 0%		
訪問入浴介護	1, 212	1, 105	91. 2%	1, 296	1, 127	87. 0%		
訪問看護	7, 092	7, 562	106. 6%	7, 176	8, 336	116. 2%		
訪問リハビリテーション	1, 728	1, 796	103. 9%	1, 812	1, 713	94. 5%		
居宅療養管理指導	8, 076	7, 966	98.6%	8, 400	8, 560	101. 9%		
通所介護	15, 504	15, 072	97. 2%	15, 672	15, 089	96. 3%		
通所リハビリテーション	6, 792	6, 759	99. 5%	6, 900	6, 878	99. 7%		
短期入所生活介護	5, 136	4, 230	82. 4%	5, 208	4, 471	85. 8%		
短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	324	260	80. 2%	336	187	55. 7%		
短期入所療養介護(病院等)	132	174	131. 8%	144	178	123. 6%		
短期入所療養介護 (介護医療院)	0	0		0	0			
福祉用具貸与	23, 748	24, 417	102. 8%	24, 600	26, 288	106. 9%		
福祉用具購入費	348	370	106. 3%	360	392	108. 9%		
住宅改修費	228	250	109. 6%	240	246	102. 5%		
特定施設入居者生活介護	1, 380	1, 416	102. 6%	1, 416	1, 501	106. 0%		
居宅介護支援	39, 312	38, 751	98. 6%	40, 620	40, 104	98. 7%		
計	121, 860	121, 401	99. 6%	125, 184	126, 735	101. 2%		
(2)地域密着型サービス								
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	24	_	0	11	_		
夜間対応型訪問介護	0	0	_	0	0	_		
地域密着型通所介護	3, 852	4, 509	117. 1%	3, 972	4, 913	123. 7%		
認知症対応型通所介護	324	245	75. 6%	336	213	63. 4%		
小規模多機能型居宅介護	252	270	107. 1%	252	356	141. 3%		
認知症対応型共同生活介護	2, 676	2, 408	90. 0%	2, 736	2, 263	82. 7%		
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	_	0	0	_		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2, 064	2, 076	100. 6%	2, 076	1, 983	95. 5%		
複合型サービス	204	189	92. 6%	216	114	52. 8%		
計	9, 372	9, 721	103. 7%	9, 588	9, 853	102. 8%		
(3)施設サービス								
介護老人福祉施設	8, 604	8, 594	99. 9%	8, 664	8, 523	98. 4%		
介護老人保健施設	5, 856	5, 445	93. 0%	5, 856	5, 845	99. 8%		
介護療養型医療施設	0	0		0	0			
介護医療院	0	85	-	660	202	30. 6%		
計	14, 460	14, 124	97. 7%	15, 180	14, 570	96. 0%		
合計	145, 692	145, 246	99. 7%	149, 952	151, 158	100. 8%		

# ■介護給付費

介護給付費の対計画比をみると、令和4年度では小規模多機能型居宅介護、福祉 用具購入費、短期入所療養介護(病院等)が特に高くなっています。

全体では、令和3年度が99.6%、令和4年度が99.0%となっており、見込値と 実績値がほぼ一致しています。

単位:千円

	令和3年度			令和4年度				
介護給付	見込み (計画書)	(年報)	比率	見込み (計画書)	年報	比率		
(1)居宅サービス								
訪問介護	676, 019	716, 734	106.0%	684, 736	751, 007	109. 7%		
訪問入浴介護	80, 379	69, 385	86.3%	85, 673	71, 608	83. 6%		
訪問看護	322, 260	329, 477	102. 2%	324, 275	365, 362	112. 7%		
訪問リハビリテーション	53, 686	57, 509	107. 1%	56, 333	54, 060	96. 0%		
居宅療養管理指導	73, 265	76, 573	104. 5%	76, 289	80, 126	105. 0%		
通所介護	1, 240, 706	1, 256, 612	101.3%	1, 255, 117	1, 230, 846	98. 1%		
通所リハビリテーション	465, 076	469, 209	100. 9%	473, 145	464, 276	98. 1%		
短期入所生活介護	660, 819	603, 411	91.3%	672, 151	622, 990	92. 7%		
短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	24, 137	24, 748	102. 5%	25, 132	17, 315	68. 9%		
短期入所療養介護 (病院等)	21, 692	30, 338	139. 9%	22, 925	27, 708	120. 9%		
短期入所療養介護(介護医療院)	0	0	-	0	0	_		
福祉用具貸与	317, 753	335, 732	105. 7%	330, 173	363, 619	110. 1%		
福祉用具購入費	8, 141	10, 370	127. 4%	8, 406	11, 356	135. 1%		
住宅改修費	22, 030	23, 913	108. 5%	22, 980	23, 797	103. 6%		
特定施設入居者生活介護	267, 496	283, 765	106. 1%	275, 332	298, 101	108. 3%		
居宅介護支援	574, 579	569, 791	99. 2%	594, 616	589, 058	99. 1%		
計	4, 808, 038	4, 857, 567	101.0%	4, 907, 283	4, 971, 229	101. 3%		
(2)地域密着型サービス								
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	3, 944	-	0	2, 982	-		
夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-		
地域密着型通所介護	206, 769	258, 414	125. 0%	214, 194	245, 443	114. 6%		
認知症対応型通所介護	48, 407	28, 491	58. 9%	49, 203	24, 922	50. 7%		
小規模多機能型居宅介護	40, 001	53, 655	134. 1%	40, 023	73, 593	183. 9%		
認知症対応型共同生活介護	669, 780	616, 546	92. 1%	685, 126	570, 442	83. 3%		
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	0	_		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	534, 701	535, 666	100. 2%	538, 211	514, 175	95. 5%		
複合型サービス	43, 754	38, 790	88. 7%	46, 786	18, 688	39. 9%		
計	1, 543, 412	1, 535, 506	99. 5%	1, 573, 543	1, 450, 245	92. 2%		
(3)施設サービス								
介護老人福祉施設	2, 164, 446	2, 174, 867	100. 5%	2, 181, 198	2, 157, 873	98. 9%		
介護老人保健施設	1, 662, 832	1, 538, 348	92. 5%	1, 663, 754	1, 674, 723	100. 7%		
介護療養型医療施設	0	0	_	0	0	_		
介護医療院	0	33, 292	-	102, 579	70, 891	69. 1%		
計	3, 827, 278	3, 746, 507	97. 9%	3, 947, 531	3, 903, 487	98. 9%		
合計	10, 178, 728	10, 139, 580	99. 6%	10, 428, 357	10, 324, 961	99.0%		

### ■介護予防給付によるサービス利用件数

介護予防給付によるサービス利用件数の状況をみると、介護予防福祉用具貸与計画値を大きく上回っています。

全体では、令和3年度が107.8%、令和4年度が106.3%となっており、実績値が計画値を上回っています。

単位:件数

	令和3年度			令和4年度				
介護給付	見込み (計画書)	(年報)	比率	見込み (計画書)	年報	比率		
(1)居宅サービス								
介護予防訪問入浴介護	0	2	_	0	1	_		
介護予防訪問看護	516	584	113. 2%	528	581	110. 0%		
介護予防訪問リハビリテーション	120	102	85.0%	132	104	78. 8%		
介護予防居宅療養管理指導	120	180	150. 0%	132	158	119. 7%		
介護予防通所リハビリテーション	1, 380	1, 271	92. 1%	1, 404	1, 087	77. 4%		
介護予防短期入所生活介護	60	27	45. 0%	72	71	98. 6%		
介護予防短期入所療養介護	0	0	_	0	1	_		
介護予防福祉用具貸与	2, 748	3, 138	114. 2%	2, 820	3, 296	116. 9%		
介護予防福祉用具購入費	12	59	491. 7%	12	46	383. 3%		
介護予防住宅改修費	60	86	143. 3%	60	88	146. 7%		
介護予防特定施設入居者生活介護	204	217	106. 4%	204	226	110. 8%		
介護予防支援	4, 224	4, 509	106. 7%	4, 332	4, 636	107. 0%		
計	9, 444	10, 175	107. 7%	9, 696	10, 295	106. 2%		
(2)地域密着型サービス								
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	_	0	0	_		
介護予防小規模多機能型居宅介護	24	36	150.0%	24	37	154. 2%		
介護予防認知症対応型共同生活介護	12	12	100.0%	12	9	75. 0%		
計	36	48	133. 3%	36	46	127. 8%		
合計	9, 480	10, 223	107. 8%	9, 732	10, 341	106. 3%		

#### ■介護予防給付費

介護予防給付費の状況をみると、介護予防福祉用具購入費で実績値が計画値を大きく上回っています。

また、介護予防福祉用具購入費、介護予防短期入所生活介護、介護予防小規模多機能型居宅介護では、令和4年度の実績値が推計値を大きく上回っています。

令和3年度は全体で108.9%、令和4年度は全体で102.5%となっており、計画値を上回っています。

単位:千円

介護給付	令和3年度			令和4年度			
	見込み (計画書)	(年報)	比率	見込み (計画書)	年報	比率	
(1)居宅サービス							
介護予防訪問入浴介護	0	38	_	0	11	I	
介護予防訪問看護	11,187	14,206	127.0%	11,470	13,994	122.0%	
介護予防訪問リハビリテーション	2,555	2,690	105.3%	2,824	2,512	89.0%	
介護予防居宅療養管理指導	997	1,480	148.4%	1,095	1,492	136.3%	
介護予防通所リハビリテーション	49,085	45,787	93.3%	49,886	37,793	75.8%	
介護予防短期入所生活介護	667	764	114.5%	1,043	2,533	242.9%	
介護予防短期入所療養介護	0	0	_	0	56	-	
介護予防福祉用具貸与	19,408	22,123	114.0%	19,921	22,628	113.6%	
介護予防福祉用具購入費	331	1,419	428.7%	331	1,043	315.1%	
介護予防住宅改修費	5,402	10,461	193.7%	5,402	8,966	166.0%	
介護予防特定施設入居者生活介護	15,466	15,228	98.5%	15,474	16,848	108.9%	
介護予防支援	19,663	21,273	108.2%	20,177	22,222	110.1%	
計	124,761	135,469	108.6%	127,623	130,098	101.9%	
(2)地域密着型サービス							
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	_	0	0	1	
介護予防小規模多機能型居宅介護	1,186	1,997	168.4%	1,186	2,323	195.9%	
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,679	2,669	99.6%	2,680	2,387	89.1%	
計	3,865	4,666	120.7%	3,866	4,710	121.8%	
合計	128,626	140,135	108.9%	131,489	134,808	102.5%	